

別紙5 環境省「星空観察」取組報告書

登録した 撮影団体名	九州情報大学「だざいふ星空研究会」
継続観察 登録地点	九州情報大学太宰府キャンパス内
地点登録 番号	(非公開)
環境省「星空 観察」への取 組内容	<p>星空観察でどのような取組を行ったか、自由に記入してください。 8月12日(水)、17日(月)、18日(火)に、本学キャンパス敷地内で星空観察会を実施し、教員2名、学生2名、太宰府市環境課環境保全係からのべ3名が参加。環境省の夏の星空観察の「天の川」観察シートと GLOBE AT NIGHT の観察シートを使って、肉眼観察を行った。キャンパスは太宰府市内でも自然環境に恵まれた郊外にあるため、星は市街地よりもはるかに見える。全国の大学キャンパスでこのような星の観察ができる環境はなかなかないため、太宰府市の環境課の方々もこの環境に興味を示してくれた。GLOBE AT NIGHT の報告は、すでに報告済。また、この期間中、継続観測する場所として本学敷地内でデジタルカメラでの夜空の明るさ撮影を行い登録したが、登録地区が限定されていたため福岡県内にある本学は登録できなかった。</p>
活動内容	<p>活動の概要(100~150 字程度) 「太宰府市内外の住民ならびに学生など、多くの人たちに、地元の星空の美しさ、継続的環境保全の大切さを伝えること」をテーマに2018年11月1日にサークル設立、現在教員2人、学生7人(OBも含む)、合計9人で活動している。現在、太宰府市環境課などの協力を得て、学内で観望会や撮影会を不定期的に行っている。また、大野城市北コミュニティセンターの天文台(スタードームまどか)にて月2回以上の観測会ボランティアにも参加、さらには天文&宇宙に関する各種資格試験、ECO 検定にも挑戦している。</p>
	<p>光害防止や大気環境保全に資する活動があれば記載してください。(100~150 字程度) 毎年6月には大学敷地横のホタル観測会開催、8月下旬には、地域の住民と共に、本学敷地横の小川で、ホタルの幼虫放流も行っており、美しい星空を守るため、地域の気、ホタルの住める環境保全の大切さを訴え、さらに光害との関連性などをそのつど説明を行っている。</p>
	<p>郷土の環境を生かした活動や地域に根付いた活動、地域おこしの推進に貢献したと思われる活動があれば記載してください。(100 字~150 字程度) 季節の変化とともに変わる本学の星空の見える環境の調査を兼ねて不定期だが、観測会を開催している。参加者は学生のみならず、市の環境課などの協力を得て、学内のみならず、住民などより広く募集し、観測会を開催している。</p>
	<p>また、前記したが、毎年6月には大学敷地横のホタル観測会開催、8月下旬には、地域の住民と共に、本学敷地横の小川で、ホタルの幼虫放流も行っており、美しい星空を守るため、地域の環境保全の大切さを訴えている。</p>
その他	<p>PRしたいポイントや、活動内容が分かるHP等があれば記載してください。 公式 Twitter: https://twitter.com/dazaifu_hoshi 公式 Facebook: https://www.facebook.com/だざいふほしぞら研究部 公式 HP: http://www.kiis.ac.jp/~dazaifu_hoshi/ 公式 Instagram: (近日開設予定)</p>
情報の公表	<p>お送りいただいた報告書の内容について、環境省のホームページにて公表させていただく場合があります。情報公表の可否を教えてください。</p> <p style="text-align: center;"> <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可 </p>